

飢餓から救う。未来を救う。

©WFP/Assouman Ntakirutimana

ルワンダの小学校、レッドカップで朝のおかゆを食べている 11 歳の男の子。国連 WFP の学校給食支援は、国内でも貧しく食料不安のある地域で、子どもたちの栄養と就学率の向上を支えています

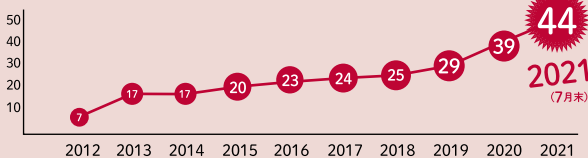
国連の食料支援機関

国連WFPニュース

Oct. 2021 Vol.66

レッドカップキャンペーン 今年で 10 周年

SAVING
LIVES
CHANGING
LIVES



レッドカップキャンペーン参加企業数

レッドカップキャンペーン 対象商品の一部をご紹介します

2011 年 11 月にレッドカップキャンペーンを開始して以来、対象商品の数は毎年増加しています。これまでに合計 53 社が参加しました。対象商品は、スーパーやコンビニでお馴染みの商品から、日用品雑貨まで、様々な商品を展開しています。最新の対象商品はホームページでご確認ください。

チキンラーメン
日清食品株式会社



キューピーベビーフード
キューピー株式会社

ポテトチップス
のり塩 5 個パック
株式会社湖池屋



ホームページはこちら！
<https://www.jawfp.org/redcup/>

頂いたご寄付が どのように使われているか をご紹介します！

2) 温かい食事

調理場のある学校では、生徒のお母さんや地域のボランティアが調理し、温かい食事を提供しています。この給食が一日で食べられるたった一食になることもあるので、お皿山盛りの給食を食べる生徒が多くいます。カップはおかゆを食べるときに使います。



4) 小規模農家と連携した地産地消の給食



国連 WFP では、学校給食支援と小規模農家支援を組み合わせ、提供する学校給食の食材に地域の小規模農家の生産物を使う地産地消の取り組みをしています。給食の食材を地域の小規模農家から仕入れることで、子どもたちは栄養バランスの取れた多様な給食を食べることができ、小規模農家は安定的な販路と収入を得ることができます。

ルワンダの Bwama 小学校はその一つです。給食の中の豆やトウモロコシは地域の小規模農家によって育てられたものを食べています。9 歳のベリスちゃんは、2016 年から学校で給食を食べています。「給食のお陰で授業に集中できるようになりました。私の両親も安心しています。」ベリスちゃんは大人になったら医者になりたいという夢を持っています。(ノ)

1) 栄養強化ビスケット

栄養強化ビスケットはたんぱく質やビタミン、ミネラルが豊富に含まれている小麦粉のビスケットです。簡単に栄養を摂取できるため、調理場が完備されていない学校では特に重宝しています。また、国連 WFP の緊急支援の際にも提供しています。



3) 持ち帰り給食

持ち帰り給食は、生徒が一定の日数以上出席すると家族全員分の食料（米や食用油など）が提供され、家に持ち帰れるというものです。普段、学校へ行かず家で労働をしていた子どもたちが、学校へ通うようになることで生じる家計の損失を補う意味合いもあります。



(ノ) 9 歳のエリサ君「学校給食が始まる前は、一日中何も食べないことが多くありました。学校へ来て、本を読んで、お腹を空かせた状態で家に帰っていました。家に帰っても食べ物がなかった時もありました。今は給食があってよかったです！」

豆農家のイマキュレーは言います。「国連 WFP は農業の研修を開催してくれただけでなく、私たちから農作物を買ってくれます。地域の子どもたちが自分の農作物で作った給食を食べられるのはとても嬉しいです。」



レッドカップキャンペーンは 今年で10周年！！

レッドカップキャンペーンとは
レッドカップマークがついた商品を買うだけで、売上の一部が国連 WFP の学校給食支援に寄付されるキャンペーンです。



キャンペーンマーク

国連 WFP の学校給食支援とは

学校へ通う子どもたちに無料で給食を提供する支援です。給食があると、親が子どもを学校に通わせるようになり、子どもたちの教育の機会と未来を広げる助けになります。

なぜ赤いカップなの？

2007 年頃、当時の事務局長ジョゼット・シーランはウガンダのリリーちゃんから壊れてしまった給食用の赤いカップを譲り受けました。シーランは学校給食が子どもたちにもたらす希望を世界中に伝えるためにそのカップを持ち歩くようになりました。国連 WFP 協会はそれ以来、企業と消費者の皆さまと一緒に子どもたちに栄養と希望を届けるキャンペーンを赤いカップをモチーフに実施しています。

この 10 年間のご寄付額は約 6 億円、
約 2,000 万人の子どもたちに学校給食を届けました。
皆さまの温かいお気持ちが子どもたちの笑顔につながっています！



2021 年度 AC ジャパン 支援キャンペーンに選ばれました

2021年度のACジャパン「支援キャンペーン」の対象団体に国連WFP協会が選ばれました。2013年度(給食でエベレスト)以来、8年ぶりになります。今年7月から来年6月まで、テレビ・ラジオCM、新聞・交通広告等にて適宜展開されます(掲出や時期については各媒体社が判断をいたします)。

「ひとつのテーブル」

いま世界で飢餓に苦しんでいる7億人の人びとのことを、遠いどこかの他人事と思うのではなく、例えば同じテーブルの子にそっと自分の食事を分けてあげるように、一緒に支援の輪に加わってほしい。そのための食料を確かに届けるのが国連WFP、というメッセージを込めて制作しました。ナレーションを国連WFP協会親善大使の竹下景子さん、イラストを国連WFP協会理事の本田亮さんに担当いただきました。



ポスター

「協力：(公社) AC ジャパン」



テレビ CM

「協力：(公社) AC ジャパン」

インフォメーション

住所変更はお済みですか？

「WFP マンスリー募金(毎月の寄付)」にご協力いただいている皆様に、2021年度の領収書を一年分まとめて2022年1月中旬より順次発送いたします。ご登録の住所に変更がある場合、マイページをお持ちの方はマイページ上にて変更をお願いいたします。お持ちでない方はお問い合わせフォームまたは下記フリーダイヤルまでご連絡をお願いいたします。マイページ <https://www.jawfp.org/mypage/> お問い合わせフォーム <https://www.jawfp.org/contact/>

新しい遺贈パンフレットができました

民法改正等を反映し、国連WFPの遺贈パンフレットがリニューアルしました。

遺贈・相続財産からの寄付にご興味をお持ちの方は、お問い合わせフォームまたはフリーダイヤルより是非ご請求ください。



国連WFP
<https://ja.wfp.org>
0120-496-819
受付時間 9:00 ~ 18:00
(通話料無料・年始を除く年中無休)

国連WFPは「飢餓をゼロに」の実現を通して、SDGsのさまざまな目標の達成に貢献しています。



貢献する SDGs の一例



ご寄付はこちら



WFP.JP



WFP_JP



wfp_japanoffice



WFPJapanOffice



メルマガ登録



App Store
からダウンロード

Google Play
で手に入れよう